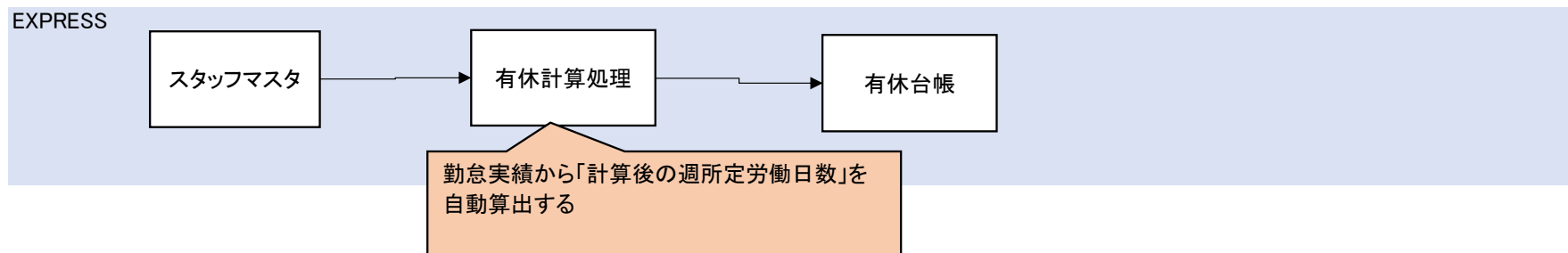


改修内容	有休計算処理-付与日数算出方法が「勤怠実績」の場合、「計算後の週所定労働時間」を自動算出する。
経緯・目的	勤怠実績から、週所定労働日数4日以下かつ週所定労働時間30時間未満の有休付与日数自動算出にも対応できるようにする。

全体フロー



## 有休計算処理

Staff Express - [有休計算処理]

営業(G) 案件(D) 配置(H) コンプライアンス(O) 勤怠(N) 給与前払(D) 給与算出年調(D) 請求(S) 管理(D) マスタ(M) ツール(Q) ウィンドウ(W) サポート(H)

前の画面 次の画面 ナビ スタッフ スタッフ検索 得意先 組織 就業現場 案件入力 配置照会 配置(日) 勤怠入力 給与計算 請求計算 お問い合わせ FAQ

抽出条件 | 抽出結果

付与日数算出方法  勤怠実績  スタッフマスタ ①-1

有休基準日 2024/06/01 ~ 2024/06/30

スタッフNO  ~

級込 解除

所属部門 全社

ヘルプ 実行 再表示 印刷プレビュー 終了

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

▼ ①-1  
付与日数算出方法で「勤怠実績」を選択した場合

## 有休計算処理

Staff Express - [有休計算処理]

窓外(G) 案件(J) 配置(H) コンプライアンス(Q) 勤怠(N) 給与前払(I) 給与賞与年調(T) 請求(S) 管理(D) マスタ(M) ツール(O) ウィンドウ(W) サポート(H)

前の画面 次画面 ナビ スタッフ スタッフ検索 得意先 組織 就業現場 案件入力 配置編成 配置(日) 勤怠入力 給与計算 請求計算 お問い合わせ FAQ

抽出条件 抽出結果

対象	スタッフNO	全労働日	出勤日数	出勤率	有休起算日	勤続年数	計算前の週所定労働日数	計算前の週所定労働日数	計算後の週所定労働日数	計算後の週所定労働日数	付与日数
<input checked="" type="checkbox"/>	115801	61	61	100.00	2022/04/01(金)	0年 03ヶ月	週5日以上	40	週5日以上	40	0.0

②-1

ヘルプ 実行 再表示 印刷 プレビュー 終了

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

V7 No4620 株式会社エクスプレス | 全社 | 管理者 0000000 | User=0横向け | Version7.3.51 | 2006-2024 SISystem Inc.

### ▼ ②-1

「計算後の週所定労働時間」の自動算出を行う  
計算方法は以下とする

- ① 所定時間を集計する  
対象となる勤怠は以下

配置区分=配置済 かつ  
出勤区分が以下に該当する

- ・ 通常出勤
- ・ 有休(\*\*)
- ・ 欠勤
- ・ 特休
- ・ 補正(通常出勤:24時間超)
- ・ 出勤区分1~10のうち、出勤定義が「通常出勤」「欠勤」「特休」「特休(有給)」

なお、集計する所定時間は「支給所定時間」ではなく  
「配置所定時間」とする。

- ② ①を「52」で割る

有休起算日と今回有休基準日の期間が1年未満の場合は、  
①の所定時間÷有休起算日と今回有休基準日との差分(月数)×12÷「52」

### 例

有休起算日 2024/04/01で、有休基準月数6ヶ月の場合  
今回有休基準日 2024/10/01  
→ 所定時間992:00÷6×12÷52≒38